

2007/4/9

D-Link スタックブル L2/L3 スイッチ xStack シリーズにおいて、 マイクロソフト社の Network Access Protection(NAP)をサポート

ディーリンクジャパン株式会社(本社：東京都港区港南、代表取締役社長 大久保 融 以下 D-Link)は、マイクロソフト コーポレーション(米国本社：Redmond, WA USA、最高経営責任者：Steve Ballmer 以下マイクロソフト)の NAP(Network Access Protection)を D-Link のスタックブル L2/L3 スイッチ xStack シリーズの DGS-3600 シリーズ、DGS-3400 シリーズ、DES-3800 シリーズ、DES-3500 シリーズにおいてサポートしました。

J-SOX 法等の施行に伴い、企業 IT システム・ネットワークにおけるセキュリティ対策の必要性が急速に高まっています。従来 IT システムを接続する役割を担っていたネットワーク機器も単なる接続機能から、ユーザ ID 認証、クライアント PC のセキュリティ・ソフトウェア、セキュリティ・パッチの適用状態の認証など、セキュリティや運用面等で、より高度な機能が求められるようになってきています。

マイクロソフト社の NAP は、Windows Vista、Windows XP および Windows Server “Longhorn” のベータ版に搭載されるポリシー制御・技術で、企業のネットワークに接続するクライアントが、企業のセキュリティポリシーに準拠しているかどうかを自動的に確認し、準拠していない場合、ソフトウェアアップデートにより、ポリシー要件を完全に満たすまで、そのクライアントによるネットワークへのアクセスを制限する次世代アクセス制御技術です。

マイクロソフト社セキュリティアンドアクセスグループ・プロダクトマネージャーの Mike Schutz 氏は、次のようにコメントしています。「D-Link が、NAP をサポートすることを大変嬉しく思います。ディーリンク社の DES-3500、DES-3800、DGS-3400 と DGS-3600 シリーズを含む xStack シリーズは、NAP をサポートすることで、最新のセキュリティ技術を提供できるでしょう。」

D-Link xStack シリーズは、10/100BASE-T、Giga、10G ポートをサポートした高コストパフォーマンス L2/L3 マネージメントスイッチで、広範囲なセキュリティ機能、先進の QoS 機能、ユーザフレンドリーな GUI/CLI など、多彩な機能をサポートするスイッチ・ソリューションで、過去数年間、世界中のエンタープライズ、自治体、キャリアで多数採用され、世界的認知度を獲得しました。NAP の対応により、さらに高度で多彩なセキュリティ・ソリューションに対応することが可能となります。また D-Link では、NetDefend UTM ファイアウォール製品も NAP に対応させる予定です。これにより、ネットワークのゲートウェイ部分でも高度なセキュリティ・ソリューションの提供が可能となります。

D-Link では、有線 LAN、無線 LAN、WAN のエンドポイントで統合的にセキュリティを高め、IT システム・ネットワーク全体を、より安全なものにする D-Link Unified Endpoint Security ソリューションを提唱しています。D-Link 製品と NAP との連携により、不正なトラフィックを阻止し、ユーザ毎のセキュリティ管理を行うなど、エンドポイントでのセキュリティを更に強化させ、高セキュリティで高パフォーマンスのネットワークを提供いたします。

製品のお問い合わせ・詳細は、弊社営業本部までご連絡下さい。(Tel:03 - 5781 - 0963)

D-Link について

D-Link は、SOHO、SMB からエンタープライズまで、幅広い製品・ソリューションラインナップを世界 55 カ国で展開し、年間百万台以上のネットワーク機器を製造、出荷する世界有数のグローバルリーダーです。

商標名称等に関する表示

Windows は、マイクロソフト株式会社の登録商標です。

その他本文に記載の会社名、製品名はそれぞれの会社の商標または登録商標です。